

産科



診療科の概要

大阪府における母子保健、母子医療の中核施設として、ハイリスク胎児、妊娠褥婦を取り扱っています。また、大阪府のOGCS（産婦人科診療相互援助システム）の基幹病院として、地域からの母体搬送や産科救急にも24時間体制で対応し、リスクの高い妊娠に対する周産期管理を行っています。

また、ローリスクの妊婦さんも積極的に受け入れています。

主な対象疾患

◎母体管理を要する疾患

切迫流産・切迫早産・流早産期の前期破水・妊娠高血圧症候群・前置胎盤・常位胎盤早期剥離・既往帝王切開後妊娠の経腔分娩（TOLAC）・その他母体合併症妊娠（高血圧・糖尿病・妊娠糖尿病・甲状腺機能異常・自己免疫疾患など）

◎胎児管理を要する疾患

子宮内胎児発育不全・多胎妊娠・双胎間輸血症候群（TTTS）・血液型不適合妊娠・羊水過多・羊水過少など

◎胎児疾患（循環器科・小児外科・泌尿器科・脳神経外科・口腔外科などの管理を要する例）

心構造異常・不整脈、消化管閉鎖・横隔膜ヘルニア・臍帯ヘルニア・腹壁破裂・腫瘍、水腎症・尿管瘤・多嚢胞腎・下部尿路閉鎖、水頭症・脊髄髄膜瘤、口唇裂・口蓋裂、骨系統疾患など

◎早産既往、不育症

主な検査と治療

◎検査

胎児超音波検査、胎児心臓超音波検査、ノンストレステスト（NST）、胎児MRI・CT検査、羊水穿刺、臍帯穿刺による胎児採血など

◎治療

- ・切迫流産に対する緊急子宮頸管縫縮術
- ・双胎間輸血症候群（TTTS）に対する、胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術（FLP）
- ・無心体双胎に対するラジオ波血流遮断術（RFA）
- ・胎児胸水に対する胸腔羊水腔シャント術
- ・先天性肺嚢胞性腺腫様形成異常（CCAM）に対する嚢胞羊水腔シャント術
- ・下部尿路閉塞性疾患に対する膀胱羊水腔シャント術
- ・胎児貧血に対する胎児輸血
- ・胎児頻脈性不整脈に対する薬物療法

専門外来（完全予約制）

多胎外来：火曜日・金曜日

多胎妊婦の集中的な外来管理を行っています。

胎児外来：月曜日・火曜日・木曜日

小児専門各科と連携し、外来管理・胎児治療を行っています。

母体合併症外来：月曜日・水曜日・金曜日

糖尿病・甲状腺・自己免疫疾患等の合併症をもつ方を対象に、母性内科と連携し、外来管理を行っています。

出生前カウンセリング外来：火曜日・水曜日・金曜日

出生前診断・先天異常など妊娠に関する相談を行っています。

流早産予防外来：月曜日・木曜日

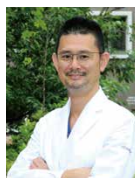
不育症に対する評価と治療および早産既往のある方を中心とし、切迫早産の治療（入院安静や子宮収縮抑制剤治療）、子宮頸管縫縮術、細菌性陰症の治療などを行っています。

胎児精密超音波外来：水曜日

セミオープンシステム登録をして頂いている医療機関・助産所で管理されている妊婦を対象に、より詳細な超音波検査を行っています。

診療実績（2022年）

分娩総数は1,830件（早産193件）、総出生児数1,931児です。在胎22～28週末満の分娩が23件、28～32週末満が40件と早期の早産が多いです。専門外来の初診数は、多胎外来157件、胎児外来344件、出生前カウンセリング外来313件、胎児精密超音波外来176件です。母体搬送受け入れ件数は189件であり、切迫流産・早産期の前期破水・前置胎盤・常位胎盤早期剥離・妊娠高血圧症候群・胎児機能不全など、母児の救急救命センターとして、中核的な役割を果たしています。



診療局長(兼)主任部長
石井 桂介



副部長
林 周作



副部長
笹原 淳



副部長
山本 亮



副部長
川口 晴菜



副部長
脇本 哲



医長
山本 瑠美子



医長
和形 麻衣子



診療主任
山田 拓馬

副部長
岡本 陽子